

ねらい 1、身近にある英語(外国語)に慣れ、親しむ
2、日本語と違う言葉の表現を楽しむ

- ① 基本を大切に。ゆっくり、じっくり、あせらずに、ていねいに。
- ② 教えたことではなく、受講生さんのニーズに沿った内容の授業をする。
 * (皆が「英語」そのものの習得を目指すわけではないので、なるべく平易な内容にする。)
- ③ 口、耳、手(身体)を使い、反復練習を大事にする。
- ④ それまでの内容の理解を前提とせず、その都度完結した授業をする(1回完結型)
- ⑤ ゲームや歌などを取り入れ、楽しい授業を工夫する。
- ⑥ 2年から辞書の引き方の授業を行う。
- ⑦ 初出の単語はもちろん、全部にフリガナを付ける。
 * (ベネッセ辞書の表記を原則とするが、英語科スタッフで話し合い、より発音に合わせた表記を目指して常に調整を続ける)
- ⑧ 当面このカリキュラムに沿って授業を進める。その年の受講生の実態に合わせて学年スタッフ等と検討の上、補充のプリント、教材等使用する。

1年 「アルファベットという字体に慣れる・ローマ字を読む」
 ～ アルファベットからローマ字表記 ～

- ① 「まず、楽しみましょう！」－ この授業でどのようなことを勉強するのか －
 ・ 挨拶(はじめの会で交わされる英語の挨拶の意味)
 ・ アルファベットって何だろう
 ・ ABC(大文字と小文字の表、ABCの歌)
- ② 大文字 － 大文字の決まり ・読み方 ・書き方 －
- ③ 小文字 － 小文字の決まり ・読み方 ・書き方 －
- ④ ローマ字表記 － ローマ字表(50音・濁音・半濁音・長音・拗音・促音) －
- ⑤ 名前の書き方 － 自分の名前をローマ字で書く(名札立てに) －
- ⑥ 看板 － 看板を読んでみよう －
 * ⑥が済むまで、他の内容は付け加えない。ローマ字と英語を同時並行しない。
 * 付け加えるのは身近な単語のみ。文章は最初の挨拶以外入れない。1年生では触れるのみ。

2年 「英語で簡単なやり取りができる」
 ～ 自己紹介・私の持ち物 ～

- ① おさらい － アルファベットの大文字と小文字 －
 ・ 身近な英語 － 表示等の言葉・ローマ字と英語の違い －
- ② 辞書の使い方
- ③ 話す、書く － 自己紹介(名前・出身地・職業) －
 ・ I am ～ ・ I am from ～
- ④ 話す、書く － 肯定・疑問・否定
 ・ He is ～ ・ She is ～
- ⑤ 数 － 1 ～12 －

- ⑥ 複数形 - 基本形と特別ルール -
- ⑦ 持ち物 - I have ~ -
- ⑧ 冠詞 - a, an -
- ⑨ まとめ
- ⑩ What's this? ・ Where are you from?
- ⑪ I like (使える英語として付け足し)

3年 「自分の一日の動きを通して、色々な動詞や名詞に触れる」
 ~ 時刻 - 私の一日 - ~

- ① おさらい
- ② 起床、洗顔
 - ・ wake up ・ wash my face {my} ・ brush my teeth
- ③ 食事
 - ・ eat {food} {breakfast, lunch, dinner, supper}
- ④ 外出 (お出かけ、どうやって)
 - ・ go to ~ {place} ・ by ~ {transportation}
- ⑤ 帰宅 (何時に) ・ get home {at ~ o'clock}
- ⑥ 何を教科・スポーツ・テレビ {・ study ・ play ・ watch TV }
- ⑦ 何時から何時まで {・ from ~ (時間) to ~ (時間)}
- ⑧ 大体の数字
- ⑨ 風呂、睡眠、{take a bath} {go to bed}
 - ・ 何時に (復習) { at ~ o'clock (時間)}
 - 「15分、30分、45分」(30分のみ thirty/half past)
- ⑩以降
 - ・ 英語で自己紹介 (これまでに勉強したことをもとに英語で自己紹介を作成、発表する)
 - ・ 日記を書いてみましょう

じっくりクラス

じっくりクラスの英語の授業は月に1回(1時間)、一斉授業。学習者の実態(実力差)からと進級のシステムではないため、教科書による授業は困難。そのためにカリキュラム、教科書の使用とはならないが、ねらいは共通。授業担当者を中心に年間計画の作成、受講生に見合ったテキストを作成し、授業を行う。